

2023年（令和5年） 1月23日 月曜日

デーリー東北 21面 掲載

大会プログラムや観光パンフレットなどを記念バッグに詰める
八戸市内の中高生ボランティア 22日 YSアリーナ八戸



プログラム準備や開始式アトラクション

裏方の中高生ら奮闘中



スピードスケート競技を行
うYSアリーナ八戸内には
銀盤に
君の軌跡よ
花ひ
め作業が行われた。八戸市内

八戸、南部の2市町で開催される「特別国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会」（28日～2月5日）では、地元の高校生らが裏方として大会を支える。「各県選手の力になれば」「おもてなしの心で大会を盛り上げたい」。それぞれ熱い思いを抱きながら準備に励み、本番を心待ちにしている。（松橋瑞偉）

「スローガンなどを記した青森県立八戸高書道部の作品（縦4枚、横6枚）が掲示された。部長の小田有希さん（2年）は「自分たちのメンバーは、自分たちのメッセージが少しでも選手の力になればうれしい」と期待する。

22日は同会場で各県選手団に配布する大会プログラムや観光パンフレットなどの袋詰め作業が行われた。八戸市内

中高生13人が約6時間かけて約2800セットを用意。

参加した市立白銀南中3年の高橋優月さんは「全国から来れた人たちのために間違いのないようにしたい」と気を引き締めて作業していた。一式が

入った参加記念バッグは選手団の宿泊先に24日から配布する。

市公会堂では大会初日の開



開始式の歓迎アトラクションに向けたりハーサルをする
地元のバトンチーム「Aries」のメンバー
=22日、八戸市公会堂

始式で音楽隊を務める県立八戸北高、八戸学院光星高、県立八戸東高の1、2年生計92人が合同リハーサルを実施。君が代、若い力など計8曲を

練習し、本番に向けて完成度を高めた。

八戸北高吹奏楽部部長の青木心咲さん（2年）は「前回の練習より上達した部分もあるが、まだまだレベルアップできる」と意気込みを語った。

「八戸に来ててくれてありがとうございます」という、おもてなしの気持ちを込めて合唱と演奏を届けたい」と張り切るのは八戸東

高音楽部部長の寺澤凜さん（同）。八戸学院光星高吹奏

樂部部長の吉田光さん（同）は「コロナ禍で演奏する機会

が少ない中、節目の大会で演奏する機会を頂けて光栄」と

笑顔を見せた。

開始式で歓迎アトラクションを披露する地元のバトンチ

ーム「Aries」（アリエス）

も最終調整に励んだ。メンバ

ーの市立三条小4年の白石雪乃さんは「たくさん的人に元

気をあげられる演技をした

い」と抱負。八戸工大二高1

年の小林瑞依さんも「選手が

頑張ろうと思ってもらえるよ

うな、力強い演技をしたい」と意欲を語った。

「選手の力に」本番心待ち